

はにわ通信

No.186 平成22(2010)年9月号



【あこがれの伊勢参り～参宮街道を歩いてみると～】

今年は伊勢自動車道が一部無料化された影響で、神宮を訪れる観光客が増えたと、テレビのニュースなどで伝えられています。昔の人びとにとって、伊勢参りはあこがれの旅だったようで、『道中伊勢音頭』という民謡にも「伊勢に行きたい伊勢路が見たい せめて一生に一度でも」と唄われています。50～60年に一度おこった『おかげ参り』のうち、文政12年(1829)の『おかげ参り』では500万人もの人びとが、伊勢参りに訪れたと伝えられています。その頃は、歩いて旅行するわけですから、伊勢参りの人びとは「参宮街道」と呼ばれる道を通りました。この「参宮街道」は松阪の街中を通して、私たちがふだんから使う道として残っています。

8月に、三雲地域の六軒から久米の間の「参宮街道」を説明して歩く機会がありました。あいにくの空模様でしたが、50人近くの参加者があり、街道沿いにある古い街並みや、道ばたに残されている道標・常夜灯などの石造物を見学して歩きました。わずか3kmほどでしたが、昔の伊勢参りににぎわいの『記憶』をたくさん見つけることができ、参加した方から、「いつも自動車通っているけれど、今まで気づかなかったものがたくさん発見できた」「こんなに立派な街並が残されているなんて初めて知った」などと感想をお聞きすることができました。

松阪は「参宮街道」をはじめ、「和歌山街道」「熊野街道」「初瀬街道」「伊勢本街道」「奈良街道」などたくさんの街道が通過しています。今でも当時の『記憶』を残している場所がたくさん

あり、松阪のまちの歴史を学ぶとき、この街道は大切な手がかりであるといえるでしょう。みなさんも、休日など利用して身近な街道のウォーキングに挑戦されてはいかがでしょうか？きっと、自分たちの住む街の再発見ができるはずです。(担当)



三渡橋のたもとにある道標(六軒町)



参宮街道沿いの民家(市場庄町)

【桔梗によせて】

秋ちかう 野はなりにけり 白露の おける草葉も 色かはりゆく
きよ ともりの 紀 友則

古い時代、桔梗は漢字の発音にちかい「きちかう」という名でもよばれました。この歌ははじめの部分をかき書くと、「(あ)きちかうのはな」となり「桔梗の花」が隠されています。あたりにすすしさを感ずる夏の終わりごろ、野原では露にぬれそぼった草の葉がすこしずつ秋の色にそめあげられていくというおもてむきの言い方に、桔梗の花も又しおれていくという内容をあわせることで、夏のころから咲いてきた桔梗の花を惜しみ大切におもうところがたわります。

桔梗は、秋の七草として私たちの暮らしにも身近な草花の一つです。秋の野原でゆれる桔梗の花というイメージは、私たちの生活の中からだんだん遠くなっていきがちな今日このごろ、文化財センターがある鈴の森公園のあたりでは、もしかすると野の花にちかい、桔梗との出会いが待っているかもしれません。



* 紀 友則 平安時代初めの歌人
(所長)

【文化財センター はにわ館・ギャラリー 9月の催し物予定】

【はにわ館】 入館料100円(18歳以下無料。) 月曜日、祝日の翌日は休館です。

第1展示室 ・常設展「宝塚古墳の謎」
第2展示室 ・前期特別展「仏教開花～花開く仏教文化」～9/26(日)

【ギャラリー】 入場無料

第1ギャラリー ・奥伊勢フォトクラブ「第8回華火写真展」～9/8(水)*31日は正午から8日は16時まで
・まつさかチャレンジドブレイス 希望の園
「きのうは死んでいる展～アクションと日常の亀裂から～」9/18(土)～26(日)10時から17時
第1・2・3ギャラリー ・平成22年度 松阪市児童生徒科学作品展 9/11(土)・12(日)*9時から16時

開館時間：9時から17時(入館は16時30分まで)

【発行】松阪市文化財センター 【電話】0598-26-7330 【サイト】<http://www.city.matsusaka.mie.jp/>



バーコード読み取り
(文化財センター情報)